



玉垣小学校だより

令和6年3月15日（金）学校通信 第17号

だい かいがっこううんえいきょうぎかい もく 第6回学校運営協議会より 2/22(木)

がっこううんえいきょうぎかい ほごしゃ ちいき かた こえ よ がっこう い かい だ
学校運営協議会（保護者や地域の方の声をより良い学校づくりに活かすための会）で出さ
れた主なご意見です。今回は学校関係者評価（本年度1年間の学校運営の反省）についてご意見
をいただきました。（学校関係者評価書は学校HP をご覧ください。）

Q 学校が始まっている時間帯に、外で遊んでいる子どもを見かけることがある。声をかけた
ほうがいいのか？それとも静観したほうがいいのか？

A 学校としては声をかけてもらっても構わない。ただ、今のご時世、声をかけるだけで不審者
扱いされることもあるので、声をかけにくい事情も理解できる。そこで、声をかけても
らうと同時に、学校にも連絡をいただきたい。お教えいただいた状況を学校でも把握し
たうえで、その子への支援を考えていきたい。また、防犯パトロールのベストやジャン
パーを着用したり、みまもり隊の腕章を付けたりした上で、声をかけていただけるとよ
いかと考える。高圧的な接し方ではなく、何か事情があるのかを尋ねるような接し方で
対応していただきたい。

・ 通学路を、毎朝ほうきで掃いてきれいにするなど、見えないところで学校に協力してく
ださっている方もみえる。そういった方には、学校から御礼状等をお渡しするなどの取り
組みをするとよい。

Q 外国籍や外国にルーツのある子どもたちおよび保護者への指導や支援はどのように行っ
ているのか？

A 国際教室「かけはし」で、担当教員が対象の子どもたちに日本語指導を行っている。
保護者については、年1回程度、対象の保護者に交流会を呼びかけている。

【地域コーディネーター(学校に入るボランティアさんを手配等していただく役割の方)より】

・ 本年度、図書ボランティアには9名（読み聞かせボランティア7名、図書室整備ボラン
ティア2名）の方に参加いただいた。本年度も、概ね昨年度と同じ程度の回数で、各学年・
クラスの読み聞かせに入ってもらうことができた。来年も同様にしていきたいが、ボラン
ティアさんのご都合に合わせてランダムに入ってもらうことになるので、時期によっては、
多い時期と少ない時期と差が出ることもある。子どもたちも、読み聞かせを楽しみにして
いるようなので、来年も人数を増やして、読み聞かせの回数が少しでも増えるように努め

ていきたい。

- ・ 学習支援ボランティアについては、本年度8名のボランティアさんに参加いただいた。ボランティアさんの人数自体については、先生方の希望と比較すると少なかったのではないかと感じている。ただ、1週間のうち、ボランティア全体で、延べ13時間の活動時間が確保できたので、ボランティアの希望があったクラスには、週に1時間以上はボランティアに入れるようシフトを組んで取り組むことができた。ボランティアさんの都合もあるので、午後からの授業や、ピンポイントのオーダには応えにくい事情もある。学習ボランティアについても、来年度はさらに人数を増やしていきたいと考えているが、学生ボランティアだけでなく、みまもり隊の方々からの協力も得たいと考えている。そこで、年度初めのみまもり隊の総会で、学習ボランティア募集のPRもしていきたいと考えている。
- ・ Q 学習支援ボランティアでは、具体的にどんな活動をしているのか？
- ・ A 指導は担任等の教員が行うので、ボランティアさんは、教室の後ろに立ってもらって、困っている子を中心に助けていただきたい。算数などの授業だけでなく、図工科や家庭科の授業の中でボランティアをしていただくこともある。図工では、低学年の子どもたちの絵の具道具などの片付けを支援していただいたり、中・高学年の彫刻刀や電動のこぎりを使った授業での補助を行ったりすることもある。また家庭科では、ミシンやアイロンを使った授業で、ボランティアさんに支援をお願いするときもある。ボランティアの活動内容をもっと周知することで、ボランティアの拡充につなげていきたいと考えている。
- ・ 新たにボランティアさんに入ってもらおう際には、プライバシー等の守秘義務についてしっかり理解してもらって活動してもらおう必要がある。

ぼうさいがくしゅう じしんひなんくんれん げつ 防災学習・地震避難訓練 3/11(月)



東日本大震災から13年過ぎたこの日、各学級では、地震のための防災学習を行い、その後、全校で避難訓練を実施しました。

現在、日本各地で地震が頻発しています。自分の命は自分で守るために、地震に遭遇した時に、自分はどういう行動をとればよいかを改めて学習

する機会となりました。

子どもたちは真剣に学習や訓練に取り組んでいたと思います。ぜひ、ご家庭でも地震が起こった時の約束等をお子さんを含めたご家族で話し合っただけであればと思います。

